

笑顔

☆まるいじかん☆

篠山東中学校 3年1組学級通信

第 52 号

2018(平成30)年10月23日発行

発行者 松田 淳二

大河になる



先週の金曜日の終わりの学活で、私はみんなに“大河になろう”と伝えました。演劇や合唱、全校合唱、吹奏楽部の演奏、展示、生徒会のオープニングなどの発表で3年生としての大きさであるとか今まで経験してきたことの深さを表現してほしいと思い、それを大河に例えて話しました。2年生の当初、クラスが1つになってクラスの日々の活動がなかなか流れない状態があり、流れる状況をつくろうと話したことを、今日までの生活の中で意識し、今では無意識に活動できるようになってきました。今、みんなは、川の水が海に流れるように先を観ながら何をすべきかを考えて行動できるようになっています。その幅や流れ、深さは、体育祭で大きくなり、速くなりこの文化祭に向けてもそれぞれがやるべき仕事を的確にこなしながら活動してどんどん大きくなっています。その川を大河にしてみたい。みんななら大河にできると思って、伝えました。では大河になるってどういうことなのか？社会という海につながる川の最後の部分を**42人全員で心を1つにやるべきことを最後までやり通すこと**だと考えます。そのため今まで言ってきた、

- ①心（芯）を入れる。（42人の思いと成功させるという強い思い）
- ②主体的に行動して、主体的に合わせる。（個を強くする）
- ③先を観て、最後の最後まで準備を徹底してする。（まだできる、何ができるのか）
- ④思いや考えをまわりに伝えて活動する。（思っていることをプラスの言葉で伝える）
- ⑤毎日の生活をいつも以上に徹底してする。（まるいじかん）

今週から本格的に準備がスタートし、それぞれが自分の役割を果たしながら、お互いに必要な声掛けをして、どうしたらうまく表現できるのかを考えながら行動することができていてとても素晴らしいです。合唱も素敵なハーモニーをつくりあげています。また、準備の良さや後片付けもしっかりしようとする意識がさすが3年生という感じで素晴らしいです。リーダーが中心となり、それに協力しようとする温かい雰囲気が嬉しいです。文化祭の練習もあと3日になりますが、**自分たちの思いを更に強くしながら主体的に様々にこだわって、できる準備を42人全員で最後まで徹底しながら3年1組で大河になっていきましょう。**これから数日でグッと大きな河になれるはずです。幅も深さも十分な大河にみんなでなろう。**みんなならできる。**

